

# 一般質問発言通告書

発言順位 12番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年2月14日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 6番 本間 雄次郎

質問事項1	三島駅南口東街区再開発事業について
具体的内容	
三島駅南口東街区再開発は完成後、どうなるのか。261億円の総予算はあくまで完成までの予算。	
管理体制は？三島市の負担は？261億円で収まる？投資に見合う効果は？市営立体駐車場の収支予想は？テナント料は？...	
推進される方々は、再開発事業の本番である「完成後」について、議論を尽くしたうえで、推進してきたのだろうか。	
これまでの議論はどうすれば完成するか、という初歩的なものしかなされていない。	
これでは全国で繰り返されてきた先行きの見えない再開発事業と同じ道を歩む、と私は断言する。	
1. 組合清算時、組合が赤字となった場合の三島市の負担割合は。	
2. 竣工後、管理運営体制に三島市は参画するか。	
3. 令和6年11月定例会での豊岡市長の「第3セクターではなく、組合の事業だ」という発言の真意は。	
4. 組合と工事事業者との工事請負契約書において、請負額変動を示唆する文言はあるか。	
質問事項2	新庁舎整備事業について
具体的内容	
豊岡市長は新庁舎整備地について、これまで「私が決めるわけがない」「市民のみなさまが決めることだ」と散々発言してきた。裏を返せば、まちづくりのビジョンがないことを示していないか。早く南二日町で進めるために、市民の民意を誘導し、早期に100億円プロジェクトを進めたいだけなのだろう。	
また三島市は「100億円は国の基準であり、これから市の所在地が南二日町に変更すれば当然100億円の費用は削減していく。」としている。ただこれは個人に置き換えたら大変由々しき事態だ。いくらかかるかわからない業者にマイホーム計画を任せて、見切り発車するのだろうか。なぜ行政だけふかした金額提示が許されるのだろうか。自分のお金でないから、とりあえず見切り発車が出来るのだろうか。100億円プロジェクトを早く進めたいがための、このような誘導的な進め方を私は断じて許さない。	
1. 2022年市長選時の市長の発言について	
2. 「私が決めるわけがない」との市長の発言について	
3. 全く内容が決まっていないのに、なぜ急いで6月に位置条例を制定する必要があるのか。	